

2023年10月
-2024年1月

NEWS & TOPICS

グループ各社の注目ニュースをお届けします

CLOSE UP

1月2日

社会・環境活動

セブン&アイHLDS

令和6年能登半島地震被害への募金および支援物資お届けについて

令和6年能登半島地震により被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

セブン&アイ・ホールディングスは、令和6年1月1日に発生した地震による甚大な被害が生じている被災地支援救済のため、1月2日よりグループ事業各社の店頭での募金箱の設置および、セブン銀行の募金受付口座を開設するなどのWEB受け付けによる募金活動を実施しています。

1月21日までにお預かりしました第1次募金2億7598万9129円を、石川県・新潟県・富山県の義援金受付窓口に寄託いたしました。

また、グループ事業各社は、1月3日以降、「セブン・ザ・プライス天然水500ml」2万本以上やおしりふき3000パック以上など、下記の支援物資をお届けし、被災者の皆様へお渡しいただきました。

この度の被害は非常に甚大であり、復興へも時間がかかることが予想されるため、引き続き2月18日（日）まで第2次募金を受け付けております。

支援物資のお届けについて（1月19日時点）

実施日	支援物資	お届け先
セブン-イレブン・ジャパン		
1月3日（水）	ペットボトル水2L 600本	七尾市役所
	ペットボトル水2L 600本	氷見市役所
1月4日（木）	菓子パン、ドーナツ 5,500個	石川県産業展示館
1月5日（金）	カップラーメン 3万個	石川県産業展示館
1月7日（日）	マスク 36万枚	石川県産業展示館
	菓子類 2,500個	田鶴浜地区3カ所
1月7日（日）～11日（木）	菓子パン 1,000個/日 合計5,000個	七尾市内避難所
1月8日（月）	缶詰 3万個	石川県産業展示館
1月11日（木）～19日（金） ※1月13日（土）、14日（日）除く	惣菜、サラダ 1,600個	七尾市内避難所
1月15日（月）～17日（水）	菓子パン 500個	七尾市内避難所
1月18日（木）	バックご飯 980個、レトルト食品 984個、 カップラーメン・カップみそ汁・栄養補助食品などの加工食品 2,590個、 紙パック飲料 980本、ペットボトル飲料 1,270本、 菓子類 480個	長野県消防学校
イトーヨーカ堂		
1月5日（金）	ペットボトル水500ml 2万本	石川県産業展示館
1月12日（金）	ペットボトル水2L 1,200本、カップラーメン 600個	神奈川県消防学校
1月13日（土）	カップラーメン、ご飯類 3,450個、 ペットボトル水500ml 1,200本、緑茶525ml 150本	富山空港H駐車場
赤ちゃん本舗		
1月11日（木）	哺乳瓶（使い捨て）960個	石川県産業展示館
	おしりふき 3,200パック	石川県産業展示館
1月15日（月）	肌着 200枚、おしりふき 100パック	金沢市内の福祉避難所
1月17日（水）	肌着 200枚、おしりふき 100パック	石川県庁福祉部

11月21日 受賞

イトーヨーカ堂

環境への取り組みが評価され「eco検定アワード」受賞

イトーヨーカ堂は、環境活動に取り組む企業を表彰する「eco検定アワード2023」を受賞しました。食品ロス削減や省エネ活動、従業員のeco検定（環境社会検定試験）[®]取得の推進などが評価され、「エコユニット部門」優秀賞での受賞となりました。今後も、循環型経済の啓発を強化していきます。

eco検定アワード2023 表彰式



11月20日 企業情報

セブン・イレブン・ジャパン

「セブン・イレブン」みらいの街を描こうコンテスト」最優秀賞受賞作品発表

セブン・イレブン・ジャパンは、創業50周年を記念して「セブン・イレブン みらいの街を描こうコンテスト」を実施し、次の50年に向けて小・中学生が描いた受賞作品を選出しました。今後も健康・地域・環境・人財という4つのビジョンを通して、明日の笑顔を描いてまいります。

中学生部門：最優秀賞
重永 旭翔さん（中学校2年生）「空を飛ぶ万能なセブン・イレブン」



10月5日 受賞

セブン・イレブン・ジャパン

環境に配慮した容器で「グッドデザイン賞」を受賞

セブン・イレブン・ジャパンは、お弁当や惣菜などに使用する容器で「2023年度グッドデザイン賞」を受賞しました。石油由来のインクや着色を減らして製造工程などにおいて排出されるCO₂を削減したことが評価されました。

GOOD DESIGN AWARD 2023年度受賞



10月1日 社会・環境活動

イトーヨーカ堂は、公益財団法人日本財団が展開する「海と日本プロジェクト」を支援するための募金活動を全国125店舗等にて実施し、寄せられた募金総額393万2089円をお届けいたしました。



12月1日 新サービス

セブン・ファイナンシャルサービス

自分サイズの補償が選べる賃貸向け家財保険の販売開始

セブン・ファイナンシャルサービスは、住友生命グループのアイアル少額短期保険株式会社と連携し、「賃貸ライフの賢い選択 自分サイズの家財保険」の販売を開始しました。「リースナブル」「簡単」「便利」をコンセプトに、自らのライフスタイルに合った補償を検討する機会という新たな価値提供を目的に開発したオリジナル商品です。

12月1日 社会・環境活動

イトーヨーカ堂

33年目となる「盲導犬募金」活動を実施

イトーヨーカ堂は、盲導犬育成事業を行う「認定NPO法人全国盲導犬施設連合会」に賛同し、店頭募金を実施しました。本活動は33年目を迎え、募金の総額は1億円を超えています。お預かりした募金は同会を通じて訓練施設に贈られ、盲導犬の普及・育成活動に利用されます。



10月30日 受賞

セブン・アイ・フードシステムズ

食品ロス対策「mo-te-co」事業環境大臣賞を受賞

セブン・アイ・フードシステムズが参加する「mo-te-co」事業が、「令和5年度食品ロス削減推進表彰」の環境大臣賞を受賞しました。同事業は、外食時にお客様が料理を食べきれない場合、専用容器をお渡しし、ご自身の責任においてお持ち帰りいただく文化の普及と啓発を図るものです。

令和5年度食品ロス削減推進表彰



10月13日から12月31日 社会・環境活動

赤ちゃん本舗

ピジョン「母乳バンク」寄付キャンペーンを実施

赤ちゃん本舗は、一般社団法人日本母乳バンク協会へ売上の一部を寄付するピジョン株式会社の「母乳バンク寄付キャンペーン」に賛同し、全国のアカチャンホンポとオンラインショップで同キャンペーンを実施しました。今後も、母乳バンクの理解と認知拡大の啓発活動に取り組めます。

12月20日 社外評価

セブン・アイ・ホールディングス

DJSI「World Index」構成銘柄に、日本の食品・日用品小売業種で唯一選定

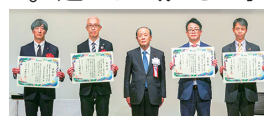
セブン・アイ・ホールディングスは、2023年の「Dow Jones Sustainability™ Indices (DJSI)」の「World Index」構成銘柄に選定された321社のうち食品・日用品小売業種では日本企業で唯一選定されました。本業を通じて社会課題の解決に取り組み続けてきたことが、世界的な評価につながったと認識しています。

12月18日 受賞

セブン・アイ・クリエイトリンク

セブンパーク天美が「気候変動アクション環境大臣表彰」を受賞

セブン・アイ・クリエイトリンクが運営するセブンパーク天美は、気候変動の緩和および気候変動への適応に対する顕著な功績を認められ、「気候変動アクション環境大臣表彰」を受賞しました。施設の主要コンセプトを「地球環境保全」「働きやすさの向上」に設定し、地域に与える環境への影響を最小限に抑えた設備建設運営に努めています。



11月6日 社会・環境活動

セブン・アイ・フードシステムズ

ファミリーストランで日本初！PETボトル回収機を設置

セブン・アイ・フードシステムズは、テニス小平小川町店の店頭で、PETボトル回収機を設置しました。これは、東京都小平市と締結した「資源循環に係る協定」に基づいたものです。今後も店舗を社会インフラとして位置づけ、お客様の利便性と社会的責任の両立を図ります。



11月1日 社会・環境活動

セブン銀行

小学生向け「金融教育」プログラム提供開始

セブン銀行は、「SENSEーよのなか学」を運営する株式会社ARROWSと協業し、全国の小学生約2000人に金融教育プログラムの提供を開始しました。このプログラムは、お金と上手に向き合う方法を子どもたちが主体的に学べる構成で、セブン銀行ならではの知見を活かし、次世代を担う子どもたちの意識向上に努めます。

新店情報			
2023年 10月27日(金)		11月23日(木・祝)	
アカチャンホンポ ビバシティ彦根店	滋賀県彦根市竹ヶ鼻町43番1号 ビバシティ彦根2階	長岡ロフト	新潟県長岡市城内町1丁目611番1号 CoCoLo長岡2階
11月1日(水)		11月30日(木)	
ザ・ガーデン 自由が丘 木場店	東京都江東区木場1丁目5番30号 イトーヨーカドー 木場店1階	新さっぽろロフト	北海道札幌市厚別区厚別中央1条6丁目 BiVi新さっぽろ3階
11月18日(土)		12月1日(金)	
ヨークベニマル 仙台上杉店	宮城県仙台市青葉区上杉2丁目1番50号	アカチャンホンポ 溝口店	神奈川県川崎市高津区溝口6丁目11番1号

11月7日 社会・環境活動

セブン・イレブン・ジャパン

セブンカフェとセブンプレミアムの「チョコレート」で「産地支援」を実施

セブン・イレブン・ジャパンは、原材料の生産地が抱える諸課題の解決による持続可能な社会の実現を目指した「産地支援」の一環として、セブンカフェを通じてジャマイカへの産地支援を決定しました。また、セブンプレミアムのチョコレート新商品では、カカオ豆生産国の課題解決に取り組むプロジェクトに賛同し、売上金の一部を寄付しました。

「セブンカフェ」における産地支援（※ジャマイカの例）

コーヒー豆の生産国が抱える課題

- 【生産量の減少】
- 栽培する環境が、霧深い山間部で険しい
- 栽培そのものが難しい繊細な品種
- ブルーマウンテンの木の「老化」
- 手作業でのていねいな豆の選別が必要
- 生産者数が減少が続いている

支援内容（一例）



【コーヒーの苗木の寄贈】

- コーヒーの木の本数を増やし、安定的な収穫、生産量の増加につなげる